

## マーケットの動き（2023年10月16日～10月20日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

9月米国小売上高の大幅な上振れにより米国長期金利が5%付近まで上昇する中、日本労働組合総連合会が来年の春闘で5%以上の賃上げを要求する方針を公表したことや、10月の日銀金融政策決定会合で物価見通しを上方修正する可能性があるとの報道などを受け、長期金利は一時0.845%と2013年以来的水準まで上昇しました。

クレジット市場は、引き続き売り買い交錯する展開となり利回り差はほぼ横ばいとなりました。

## 投資環境見通し（2023年10月）

## 国内長期金利は上昇圧力の強い状況が続く

日銀は当面、現行の金融緩和策を継続するとみられますが、投資家の間では為替や物価動向を注視しつつ政策修正に対する関心が強まり、国内長期金利は上昇圧力の強い状況が続くとみえています。

	10月20日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.83	0.08	0.11	0.37	0.58
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	362.06	▲0.79%	▲1.14%	▲2.71%	▲2.35%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

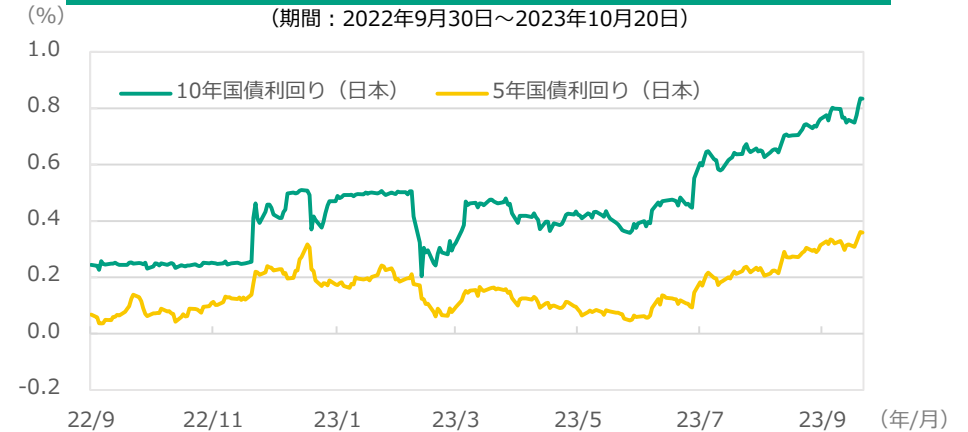
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202310\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202310_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移

（期間：2022年9月30日～2023年10月20日）



## NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2022年9月30日～2023年10月20日）



※2022年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成